



ゼロカーボンを復興の軸とした新しいまちづくりを進めたいと考えています。
大熊町の未来のため、地球のため、一緒に取り組みませんか？！



1. ビジョンの目的

基本理念

- 原発事故により全町避難を経験した町だからこそ、気候変動という世界共通の課題解決に取り組みます。
- 将来大熊町が、原発事故の町ではなく、「ゼロカーボンタウンの先進地」として、私たちの子ども・孫たちが誇りをもって語れる人と地球にやさしいまちづくりを進めます。

計画期間

- 2021年度～2050年度の30年間とします。

ゼロカーボンとは？

- 二酸化炭素の排出が実質ゼロ（排出量－吸収量＝0）のことで、カーボンニュートラルや脱炭素と言うこともあります。

<基本戦略～るる大熊～>

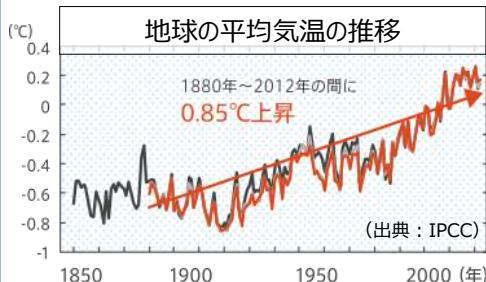


ゼロカーボンの推進⇒大熊町の復興



2. もし、何もしなかったらどうなる？

地球温暖化の進行とその影響



地球の平均気温は、温暖化以前と比べて既に約1℃上昇しています。既に、異常気象や大型台風などが増加しつつあり、今後さらに影響が甚大化するおそれがあります。

2050年の大熊町（予測）

- ①二酸化炭素排出量：7.5万トン
2020年の排出量4.3万トンから1.7倍に増加し、温暖化の進行に歯止めをかけるどころか、悪化させる側になってしまいます。
- ②エネルギー代金の流出：累積で約800億円
30年間、町内全体での灯油や電気購入の合計を推計しました。人口4千人とすると一人当たり2千万円になります。一方で、再エネの地産地消が浸透すれば、この経費を地域経済の活性化に転じることができます。



おお、ちゃんと対策しないとやばいぞ。



3. ゼロカーボンへの道のり

ゼロカーボン達成に向けた道のり イメージ

大熊町は、全国に先駆けて
ゼロカーボン達成を目指します



ゼロカーボン達成のポイント

- ①省エネ
- ②電化の推進
→エネルギー利用の効率化
- ③再生可能エネルギーの大量導入
→グリーン電力への転換

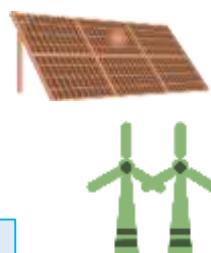
今後の達成目標

2020年 ゼロカーボン宣言
2030年 再エネ導入率100%
2040年 ゼロカーボン達成
2050年 カーボンマイナス達成

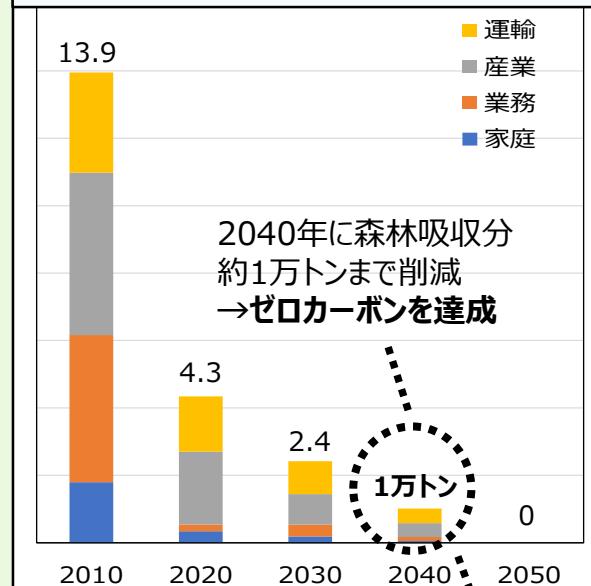
再エネ導入目標（累計、仮）

太陽光 : 51
風力 : 30
小水力 : 0.3
波力 : 0.1
バイオマス : 2

合計 83.4MW



CO2削減の推計（万トン）



大熊町には5000haの森林があり、樹木の光合成によって、毎年約1万トンのCO2が吸収されています。

